

# FDG-PET 検査についての説明書

医療法人慈風会 厚地記念クリニック

## . FDG - PET 検査について

### 1 . 検査の方法

この検査は、フッ素-18 ( $^{18}\text{F}$ ) という放射性同位元素で標識されたフルオロデオキシグルコース (FDG) の 100 ~ 200MBq (3cc 程度) を注射し、一時間の安静後約 30 分間全身の断層画像を撮影します。検査は撮影中に安静に寝ているだけで終了します。

### 2 . 注意事項

検査前 6 時間は絶食して下さい。

注射から撮影開始まで安静回復室のベッドで、目を閉じて安静にして下さい。

撮影に呼ばれたら、トイレで排尿して下さい

撮影中は台の上で動かないようにして下さい。

### 3 . 検査の安全性と危険性

当院で使用する FDG は、日本アイソトープ協会「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準」及び日本核医学会「院内製造された FDG を用いて PET 検査をおこなうためのガイドライン」に準拠し、住友重機械製サイクロトロン MINITrace と住友重機械製 FDG 合成装置 F100 を用いて院内施設で使用当日に合成した後、品質試験に合格したものを我们用います。尚、FDG 合成装置 F100 は、厚生労働省の医療用具として承認されたものです (薬事承認番号 21400BZZ00094000)。

線量は、一回あたり約 2 ~ 4mSv (ミリシーベルト) で X 線 CT 検査よりも少ない量です。この線量で放射線障害が起こることはありませんので安心して下さい。

### 4 . 検査の限界 (裏に補足があります)

FDG - PET を用いたがん検診では、見つけやすいがんと見つけにくいものがあります。見つけにくいものとしては、尿に出てくる FDG と紛らわしい腎臓や膀胱にできるもの、膀胱の近くの前立腺や子宮の小さいもの、肝癌や肺癌の一部で FDG を取り込まないもの、消化管の粘膜内がんなどが挙げられます。この種の見逃される可能性がありますのでご理解願います (全て含めて 90% 程度の検出率といわれています)。

## . 同意について

上記の説明を受けた後、充分納得した上で、検査を受けることに同意して下さい。

院長 陣之内 正史